

中学校 外国語科

徳島県教育委員会

1

第4期教育振興基本計画（令和5年6月15日閣議決定）（抜粋）

目標4 グローバル社会における人材育成

（略）豊かな語学力、異なる文化・価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力、新しい価値を創造する能力、主体性・積極性・包摂性、異文化・多様性の理解や社会貢献、国際貢献の精神等を身に付けて様々な分野・地域で国際社会の一員として活躍できる人材を育成する。（略）

【測定指標】

- 英語力について、中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合の増加（5年後目標値：6割以上）
- 全ての都道府県・政令指定都市において、中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を5年後までに5割以上にすることを旨とする
- 特にグローバルに活躍することが期待される層の拡充に向けて、高等学校卒業段階でCEFRのB1レベル相当以上を達成した高校生の割合の増加（5年後目標値：3割以上）

○外国語教育の充実

- 外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を着実に育成するため、教材・指導資料の配布やデジタルを活用したパフォーマンステストの実施などICTの一層の活用促進、教師の養成・採用・研修の一体的な改善、特別免許状の活用や専科教師・外国語指導助手（ALT）配置等の学校指導体制の充実など、総合的に推進する。
- 各都道府県等の負担軽減など必要な改善を行いつつ、「英語教育改善プラン」の策定とそれに基づく計画的な取組を促し、英語教育実施状況調査等を通して継続したフォローアップを行うことにより、PDCAサイクルを着実に機能させ、生徒や教師の英語力や指導力の向上を図る。
- 大学入学選抜において、「読む・書く・聞く・話す」の4技能に関する総合的な英語力を適切に評価するため、各大学の個別選抜について、優れた取組を幅広く普及するなど、各大学の取組を推進していく。

3

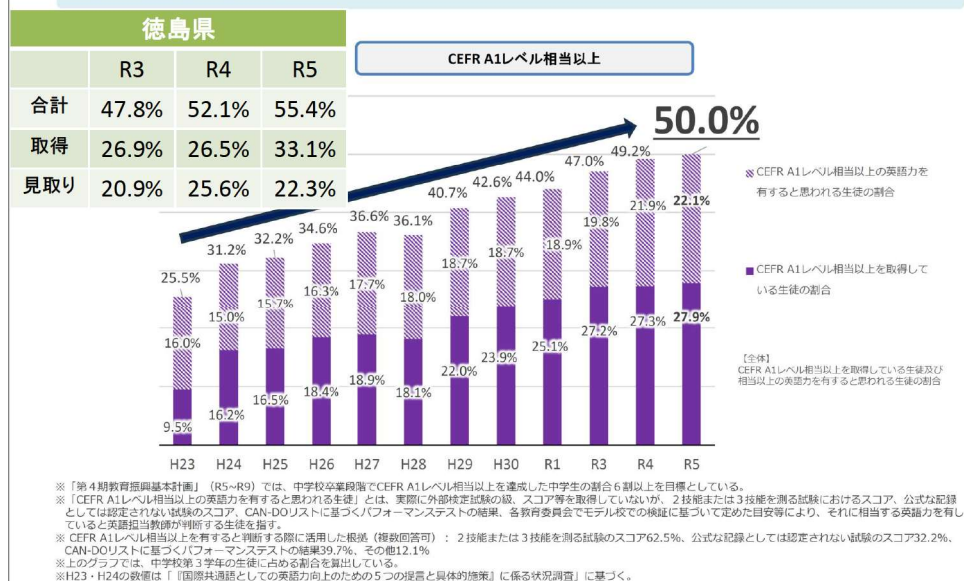
本日お伝えすること

- ① 英語教育の動向
- ② 学習指導要領のポイント
・言語活動を通じた指導
- ③ 指導と評価の一体化 協議1
- ④ ICTの効果的な活用 協議2

2

中学生の英語力

CEFR A1レベル（英検3級）相当以上を達成した中学生の割合は、50.0%であり、着実に向上している。



4

学習指導要領の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

※高校教育については、従来の事実的知識の暗記が大学入学選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

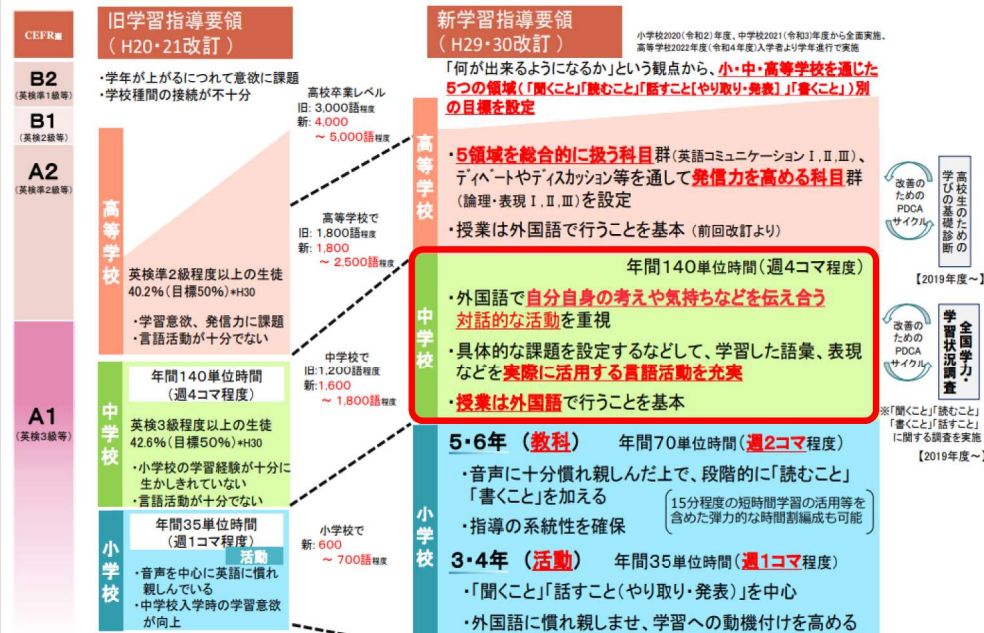
主体的な学び

対話的な学び

深い学び

令和5年度中学校各教科等教育課程研究協議会（共通）より

外国語教育の抜本的強化（イメージ）



【外国語】学習指導要領改訂の考え方

外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成と、学習評価の充実

コミュニケーション能力

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解とそれらを実際のコミュニケーションで活用できる技能

コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて理解したり表現したり伝え合ったりすることができる力

何ができるようになるか

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

「外国語を使って何ができるようになることを目指すか」という目標を学校内外と共有し、ALT等の外部人材との連携、様々な教材やICTの効果的な活用を図りながら、外国語の教育課程を編成、実施し、学習評価を踏まえた改善を行っていくこと

何を学ぶか

学校段階間の円滑な接続と児童生徒の課題を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

- ・小・中・高等学校を通じた5つの領域別の目標を設定（「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」）
- ・小学校中学年における外国語活動の新設、高学年の教科化

どのように学ぶか

五つの領域別の言語活動及び統合的な言語活動を通して指導を行う

言語活動を通して

4技能5領域別の目標設定

Ⅱ、Ⅲ）を設定

コミュニケーションの場面
説明に偏らず、言語活動と効果的に関連付けて指導

学習指導要領 外国語科の目標

小学校外国語活動

「言語活動を通して」育成がポイント

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

小学校外国語

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

中学校

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

高等学校

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

「言語活動を通して」育成がポイント

学習指導要領における「言語活動」とは



言語活動は、「**実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなど**」の活動を基本とする。
(『中学校学習指導要領解説外国語編』p.85)

言語活動を行う際は、単に繰り返し活動を行うのではなく、生徒が**言語活動の目的や言語の使用場面**を意識して行うことができるよう、具体的な課題等を設定し、その**目的を達成するために、必要な言語材料を取捨選択して活用**できるようにすることが必要である。
(『中学校学習指導要領解説外国語編』p.55)

言語材料

↓
「音声」、「符号」、「語、連語及び慣用表現」及び「文、文構造及び文法事項」

(『中学校学習指導要領解説外国語編』p.29)

令和6年度中学校各教科等教育課程研究協議会（中・外国語）¹³より

「言語活動を通して」育成がポイント

<単元の目標>

スポーツが好きなALTに、パリオリンピックで日本のチームをいっしょに応援するために、そのスポーツの起源やチームについて事実や自分の考え、経験を整理し、まとまりのある内容を話すことができる。

1 単元目標を理解する。

単元内で繰り返す！

2

3 選んだスポーツについて自分の体験や知っている情報をペアで伝え合う。

4 選んだスポーツの発祥地や特徴について整理したことを伝え合う。

5 選んだスポーツの日本人選手や日本のチームについて、タブレットを使用して調べ、そのことについて、ペアで伝え合う。

6 選んだスポーツの起源について調べ第3時～第5時で調べた内容をまとめ、構成を考える。

7 選んだスポーツについてペアで伝え合う。

8 ALTの先生に、調べたスポーツについて紹介する。

授業内でも繰り返す！

15

「言語活動を通して」育成がポイント

言語活動

内容が先、英語が後

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、

必要な情報や考え
(必要な情報、概要、
要点)を捉えさせる
活動

受信
(聞く・読む)

考えなどを形成させ
(表現内容を考えさせ)
表現させる活動

発信
(話す・書く)

「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編」より

発音練習、歌、英語の文字を機械的に書く⇒×言語活動
練習は、言語活動を成立させるために重要！
練習だけに終わらないように留意！

「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」より¹⁴

授業で大切にしたい考え方

生徒の活動

教師の指導

指導

活動

16

モデル

A: What food do you want to eat in summer?

B: I want to eat ().

A: Oh, do you like ()?

B: Yes, I do.

A: That's good. Why?

B: Well.... ().

A: I like (), too.

B: Oh, really?

17

モデル

コミュニケーションの目的・
場面・状況の設定が必要

A: What food do you want to eat in summer?

B: I want to eat watermelons.

A: Oh, do you like watermelons?

B: Yes, I do.

A: That's good. Why?

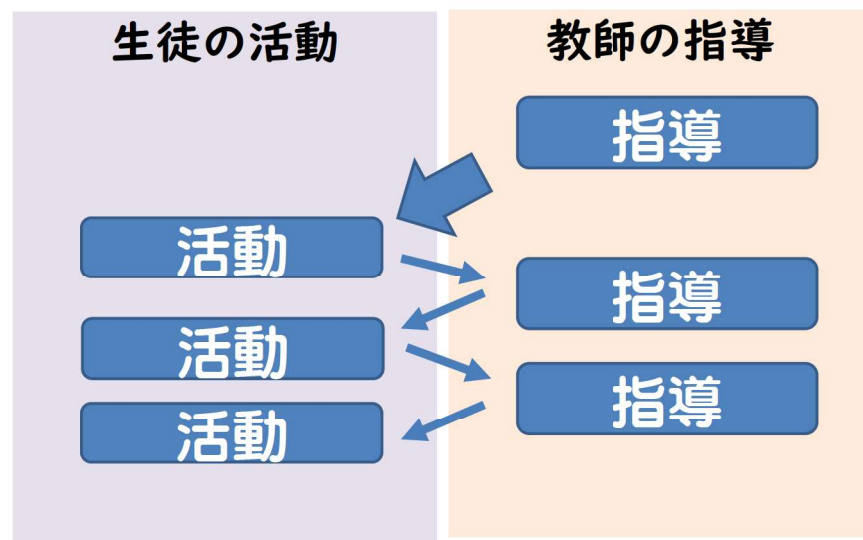
B: Well.... Sweet.

A: I like watermelons, too.

B: Oh, really?

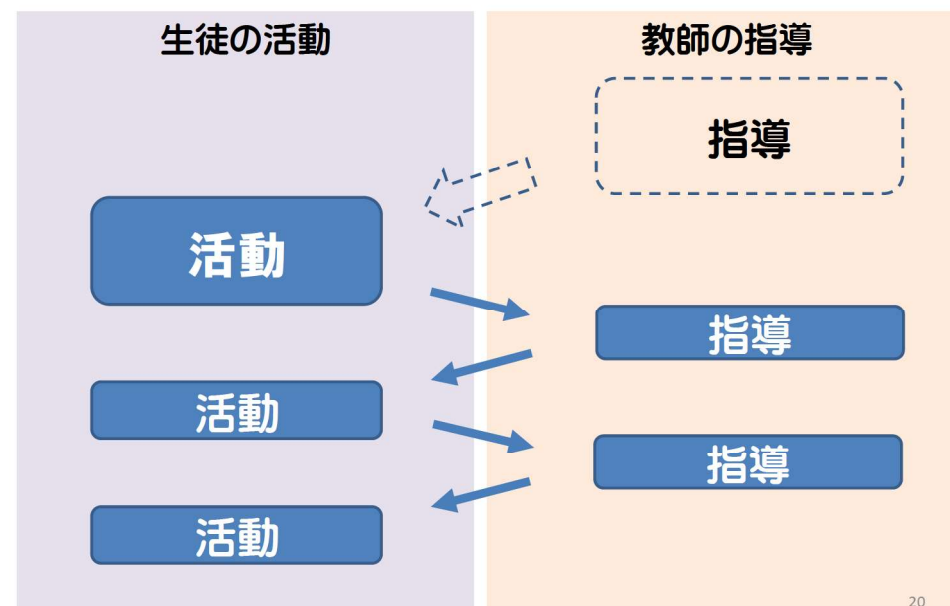
18

授業で大切にしたい考え方①



19

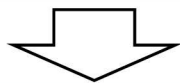
授業で大切にしたい考え方②



20

言語活動を通した授業づくりの参考資料

小学校で「音声」でのやり取り、「文字」にも慣れ親しむ学習を行ってきた児童が中学校へ入学してくる。また、2018年度から2024年度にかけて、毎年度、小学校での総学習量の異なる1年生を迎える。このため、**導入期の学習への工夫、「話すこと[やり取り]」の指導の充実が必要**



○移行期間における教師用指導資料をHPで提供

- ・「**帯活動**」(約10分間)でSmall Talkの実施を想定し、当該活動の年間計画及び単位時間における展開案



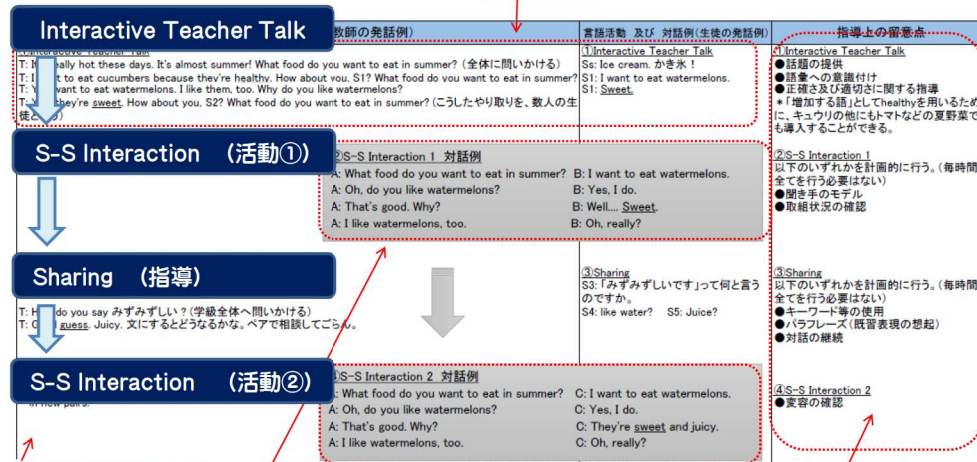
移行期間における指導資料について
(中学校外国語科)

文部科学省
初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室

21

「移行期間における指導資料」(小中接続・帯活動) (具体的な授業展開案を34コマ、題材を70題紹介)

■英語用いたコミュニケーションを**教師も行う**。



■指導過程を統一。

■指導上の留意点の詳細は別紙にまとめて提示。
(「Sharing」での意図的な指導が極めて重要)

■生徒の発話をイメージして指導。

22

学習指導における「授業を英語で行う」とは

生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、**授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする**。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。(『中学校学習指導要領解説外国語編』p.86)

生徒が授業の中で「**英語に触れる機会**」を最大限に確保することと、授業全体を英語を使った「**実際のコミュニケーションの場面**」とすることがねらい。

「**授業は英語で行うことを基本とする**」とは、生徒が日常生活で英語に触れる機会が限られ、**英語による言語活動を行うことを授業の中心に据えることを意味している**。

- 使う語句や文などを平易なもので言い直したり、繰り返したり具体的な例を提示したりする
- 生徒の分かる英語で話し掛ける ○発話の速度や明瞭さを調整する
- 生徒と英語でやり取りを行う ○既習の言語材料を用いながら教科書の内容を説明する等

教師の使用する英語は生徒にとって効果的なインプット

教師の積極的な英語使用に対する態度と行動が大きな影響

令和6年度中学校各教科等教育課程研究協議会(中・外国語)より

令和5年度「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」

A層:学校SESが低い×英語力が高い学校12校のうち、「話すこと」の得点が高い順に6校を訪問調査を実施

<英語の授業>

- ☑自分の気持ちや考えを伝えられるようになることを授業の目標として、やり取り中心の授業が行われている。
- ☑対話的な言語活動を軸に、やり取りをしたあと、さらに思考を深める活動が行われている。
- ☑授業中に無駄な時間がない。先生も生徒もみな、授業に集中できている。
- ☑授業中に教員の指示がよくゆきわたっている。
- ☑生徒たちは、英語の言語活動を、真剣に、かつ、楽しそうに行っている。
- ☑言語活動中心の授業の中で、正確さに焦点をおいた指導が行われている。
- ☑言語活動の中での、教師のフィードバックが適切で効果的である。
- ☑正確さに焦点を置いた指導を行うときには、ICT機器をうまく活用している。

令和5年度全国学力・学習状況調査の英語の結果を活用した専門的な分析
(最終報告) 国立大学法人横浜大学 より一部抜粋し作成

令和6年度中学校各教科等教育課程研究協議会(中・外国語)より

23

中学校学習指導要領 外国語科の目標

新学習指導要領では、全ての教科等の目標について、①育成することを目指す資質・能力(何ができるようになるか)と、②教科等の特質に応じた学習過程(どのように学ぶか)を明示。

中学校学習指導要領(平成29年3月31日告示)

〔小学校外国語活動・外国語科、高等学校外国語科・英語科においても同様の考え方にに基づき目標を設定〕

第2章第9節 外国語 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、**外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して**、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする**コミュニケーションを図る資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

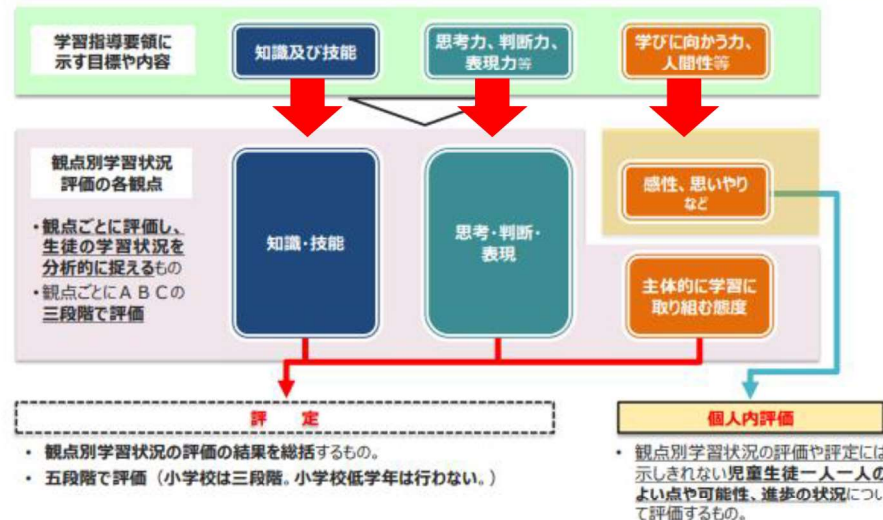


- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる**実際のコミュニケーション**において活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う**目的や場面、状況などに応じて**、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを**理解したり**、これらを活用して**表現したり伝え合ったり**することができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、**聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度**を養う。

25

各教科における評価の基本構造

- ・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの(目標準拠評価)
- ・目標準拠評価とはいわゆる絶対評価であり、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



◆児童生徒の学習評価の在り方について(平成31年1月21日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会報告)より ※一部配色やフォントを変更
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415602_1_1_1.pdf

26

学習指導要領「外国語科」の目標と「英語の目標」

中学校学習指導要領(平成29年3月31日告示) 第2章第9節 外国語

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、**外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して**、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする**コミュニケーションを図る資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
(2)思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)学びに向かう力・人間性	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

他教科等と共通

英語 / 1 目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、**聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと**の五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ ……	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ ……	ア ……		

英語教育の特質
(CAN-DO形式の目標)

27

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料について

令和3年度から、全面実施される新学習指導要領に対応した学習評価について、国立教育政策研究所教育課程研究センターより、教員向けの参考資料が公開された。
 本参考資料は、学習評価の基本的な考え方や各教科等における評価規準の作成及び評価の実施等について解説しているほか各教科等別に単元や題材に基づく学習評価について事例を紹介している。

○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料をHPで提供



- 第1編 総説(全教科統一)
- 第2編 「内容のまとまりごとの評価規準」(中学校外国語科用)
- 第3編 単元ごとの学習評価について(5事例)

○山田誠志前教科調査官による説明動画を公開
 (公益財団法人日本英語検定協会による英語情報Web)



28

学習指導要領に示されている4技能5領域別の 学習到達目標 (CAN-DO形式)

受容技能

4技能5領域

「聞くこと」

- ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、**必要な情報**を聞き取ることができるようにする。
- イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の**概要**を捉えることができるようにする。
- ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の**要点**を捉えることができるようにする。

29

学習指導要領に示されている4技能5領域別の 学習到達目標 (CAN-DO形式)

受容技能

4技能5領域

「読むこと」

- ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから**必要な情報**を読み取ることができるようにする。
- イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の**概要**を捉えることができるようにする。
- ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の**要点**を捉えることができるようにする。

30

<受信技能>問題例 (知識・技能)

I(3) (聞くこと) **内容**を最も適切に表している絵を選ぶ問題

<スクリプト>

A: Hello. May I help you?

B: Yes, please.

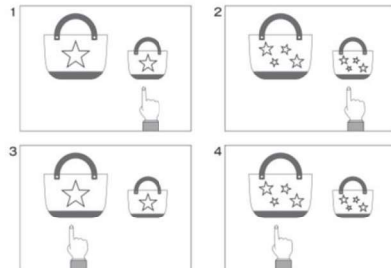
I want to buy a new bag.

A: O.K. How about this bag with some stars on it?

It's very popular.

B: It's nice!

I'll take the bigger one.



問題の趣旨：情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。

<受信技能>問題例 (思考・判断・表現)

2 (聞くこと)

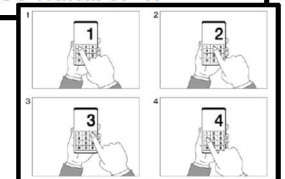
「聞くこと」のア：必要な情報

あなたは買物からの帰宅後、**ショッピングセンターに傘を忘れたこと**に気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

<スクリプト>

This is ABC shopping center. Thank you for calling. How can we help you? If you want to know our opening hours, please choose number 1. If you want to join our shopping club, please choose number 2. **If you lost something in our shopping center, please choose number 3.** If you have any questions about shops and restaurants in our shopping center, please choose number 4.

問題の趣旨：日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。



<受信技能>特徴の例

知識・技能	思考・判断・表現
① 実際のコミュニケーション において	① コミュニケーションを行う目的や場面、状況など に応じて
②日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等	②日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等
③ 内容を捉える技能 を身に付けている状況を評価	③ 必要な情報や概要、要点などを捉えている状況 を評価
④当該学期で扱った 言語材料（特定の言語材料） を必ず使用して作成	④当該学期で扱った 言語材料（特定の言語材料） を必ず使用しなければならないわけではない

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語 P30、60（国立教育政策研究所）をもとに作成

学習指導要領に示されている4技能5領域別の学習到達目標（CAN-DO形式）

発信技能

4技能5領域

「話すこと[やり取り]」

- ア **関心のある事柄**について、**簡単な語句や文**を用いて**即興で伝え合う**ことができるようにする。
- イ **日常的な話題**について、**事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文**を用いて伝えたり、**相手からの質問に答えたり**することができるようにする。
- ウ **社会的な話題**に関して聞いたり読んだりしたことについて、**考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文**を用いて**述べ合う**ことができるようにする。

34

学習指導要領に示されている4技能5領域別の学習到達目標（CAN-DO形式）

発信技能

4技能5領域

「話すこと[発表]」

- ア **関心のある事柄**について、**簡単な語句や文**を用いて**即興で話す**ことができるようにする。
- イ **日常的な話題**について、**事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文**を用いて**まとまりのある内容を話す**ことができるようにする。
- ウ **社会的な話題**に関して聞いたり読んだりしたことについて、**考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文**を用いて**話す**ことができるようにする。

35

学習指導要領に示されている4技能5領域別の学習到達目標（CAN-DO形式）

発信技能

4技能5領域

「書くこと」

- ア **関心のある事柄**について、**簡単な語句や文**を用いて**正確に書く**ことができるようにする。
- イ **日常的な話題**について、**事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文**を用いて**まとまりのある文章を書く**ことができるようにする。
- ウ **社会的な話題**に関して聞いたり読んだりしたことについて、**考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文**を用いて**書く**ことができるようにする。

36

<発信技能>問題の例（知識・技能）

I(2)（話すこと）

<スクリプト>

I was so excited to see
the baby elephant.

So, what are we going to do next?

「話すこと[やり取り]」のア



問題の趣旨：未来表現（be going to）を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

「令和5年度 全国学力・学習状況調査 中学校 英語」³⁷より

<発信技能>問題の例（思考・判断・表現）

I(4)（話すこと）

あなたは、オーストラリアからの
留学生ソフィアのために動物園へ
行く予定をたてました。（以下略）

「話すこと[やり取り]」のウ



<スクリプト>

I want to buy a gift for my host brother. He is only 4 years old. Which one should I buy for him, a picture book, animal cookies or a T-shirt? And why do you think so?

問題の趣旨：日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができるかどうかをみる。

「令和5年度 全国学力・学習状況調査 中学校 英語」³⁸より

3観点からの評価

〔学習評価問題例〕①

パフォーマンステストを行う部屋の入り口で、やり取りのテーマが書かれた紙を読んだ後部屋へ入り、自分から会話を始めて、ALTとテーマについて1分間やり取りを行う。考える時間は15秒とする。

Summer vacation is coming soon. (ALT's name) wants to know a fun way to spend the summer vacation in Tokushima. Which do you recommend to him/her, going to a beach or going out camping?

(1) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> - It+be 動詞+to 不定詞などの特徴やさまりを理解している。 <技能> - 夏の過ごし方について、事実や自分の考え、気持ちなどを、It+be 動詞+to 不定詞、などを用いて伝え合う技能を身に付けている。	初めて徳島で夏を過ごすALTの先生と、夏の楽しい過ごし方について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝えたり、相手の質問に答えたりしている。	初めて徳島で夏を過ごすALTの先生と、夏の楽しい過ごし方について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。

各観点を一体的に評価する。

徳島県「指導と評価の一体化」サイト 「話すこと[やり取り]ア」の問題より

<発信技能>特徴の例

知識・技能

思考・判断・表現

①実際のコミュニケーションにおいて

①コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて

②日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて

②日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて

③話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている状況の評価

③話したり書いたりして表現したり伝えあったりしている状況の評価

特定の言語材料の使用を想定

特定の言語材料の使用を想定しない

協議 | 評価について

① 作成した評価問題を各自で確認

- ・目的・場面・状況が設定されているか。
- ・思考・判断・表現の問題となっているか。
(なっていない場合、どうすればよいか。)

② グループ協議

- ・作成した問題について(1人ずつ)
- ・評価について
(工夫していること、困っていることなど)

③ 全体共有 A~Dグループ

41

1人1台タブレット等を最大限に活用 学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
描絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。	デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習進度を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。	タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。
A1 教員による教材の提示  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	B1 個に応じる学習  一人一人の習熟の程度等に応じた学習 B2 調査活動  インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	C1 発表や話し合い  グループや学級全体での発表・話し合い C2 協働での意見整理  複数の意見・考えを議論して整理
B3 思考を深める学習  シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	B4 表現・制作  マルチメディアを用いた資料、作品の制作 B5 家庭学習  情報端末の持ち帰りによる家庭学習	C3 協働制作  グループでの分担、協働による作品の制作 C4 学校の壁を越えた学習  遠隔地や海外の学校等との交流授業

※「学びのイノベーション事業」実践研究報告書(平成26年度)より

GIGAスクール構想のもとでの【中学校外国語科】の指導におけるICTを活用する際のポイント

1. 新学習指導要領(中学校外国語)とICT活用の関係

「1 目標」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(以下省略)

「3 指導計画の作成と内容の取扱い(2)キ」

生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、**生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図る**ようにすること。

2. 外国語教育におけるICT活用の主な利点

■言語活動の更なる充実

- ・英語話者との「本物のコミュニケーション」の機会の提供
- ・小規模校の生徒にとっての他校生徒や、学校規模を問わず日頃の授業では交流がない他学級の生徒等、多様な他者とのコミュニケーションの機会の提供
- ・電子メールやSNSを用いた実践的なやり取りの実現
- ・「聞くこと」「読むこと」の言語活動におけるオーセンティクな教材の活用

■興味・関心の喚起と指導・評価の効率化

- ・多くの生徒が日常生活で使用していると思われるSNS上でのコメントによるやり取りを授業に導入することによる学習意欲の喚起
- ・言語活動を行うために必要な言語材料について理解・練習することを、自分のペースで進めるための教材として活用
- ・プレゼンテーション機能等の活用による板書や説明時間の短縮と、それによる言語活動が中心となった授業の促進
- ・パフォーマンステスト等評価への活用

「GIGAスクール構想のもとでの中学校外国語科の指導について」より

AI等のデジタル技術の活用

3. 生成AIの教育利用の方向性

(1) 基本的な考え方

- 学習指導要領は、「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力と位置づけ、情報技術を学習や日常生活に活用できるようにすることの重要性を強調している。このことを踏まえれば、新たな情報技術であり、(略)のように学びに活かしていくかという視点、近い将来使いこなすための力を意識的に育てていく姿勢は重要である。

- その一方、生成AIは発展途上にあり、多大な利便性の反面、

(略) 批判的思考力や創造性、学習意欲への影響等、様々な懸念も指摘されており、教育現場における活用に当たっては、児童生徒の発達の段階を十分に考慮する必要がある。

(2) 生成AI活用の適否に関する暫定的な考え方

2. 活用が考えられる例

- ④英会話の相手として活用したり、より自然な英語表現への改善や一人一人の興味関心に応じた単語リストや例文リストの作成に活用させること、(略)

文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」(令和5年7月4日)より抜粋

協議2 ICTを活用した授業事例

① グループ内で順番に発表・話し合い

<発表内容>

- ・事例発表、よかった点、改善点など

<話し合いのポイント>

- ・ICTを効果的に活用について
- ・ICTの活用による言語活動の充実について
- ・よりよい活用に向けて など

② 全体共有 E～Hグループ

45

StuDX Style (スタディーエックス スタイル)

スタディーエックス スタイル 特設ウェブサイト「StuDX Style」について

特設ウェブサイト「StuDX Style」では、1人1台端末の更なる利活用の促進に向けて、全国の学校や自治体から提供いただいた端末の活用方法に関する優良事例等を数多く紹介しています。
具体的には、活用のはじめの一歩となる「慣れるつながる活用」、各教科等の学習に生かす「各教科等での活用」の事例を紹介するとともに、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていく「STEAM教育等の教科等横断的な学習」の取組事例もあわせて掲載しています。

StuDX Style
GIGAスクール環境を浸透させ 学びを豊かに変えていくカタチ

「すぐにも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の活用シーン

各教科等での活用事例
各教科等の指導における1人1台端末の活用事例について小学校・中学校・高等学校の各教科等のポイントや、各教科等の特質を踏まえた活用事例を紹介しています。

STEAM教育等の教科等横断的な学習の取組事例
STEAM教育等において、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を推進している自治体や学校の取組事例を紹介しています。

GIGAに慣れる活用事例
学習環境づくり等の取り組みやすい事例や、バスガイド指導やルールづくり等の適切で安全な端末活用の事例などを中心に、1人1台端末の活用に取り組み始める先生方へのヒントとして紹介しています。

「つながる」活用事例
「教師と子供がつながる」「子供同士がつながる」「学校と家庭がつながる」「職員同士がつながる」について、授業等での活用のヒントが欲しい先生方への活用事例を紹介しています。

各OS事業者との連携
各OS事業者と連携し、StuDX Styleの事例の使い方を紹介しています。

特集ページ
自宅等でのオンラインを活用した学習指導に関する事例や、先端的に取り組んでいる自治体の研修情報やコンテンツ情報などを紹介しています。

StuDX Style ウェブサイト URL : <https://www.mext.go.jp/studxstyle/> (令和4年1月)

デジタル教科書の効果的な活用例 (外国語)

活用のポイント 外国語

外国語ではデジタル教科書の音声読み上げ機能などにより、児童生徒一人一人が自分のペースや方法で、語彙や表現などを確認したり学習したりすることで、自信を持って自分の考えや気持ちを伝え合う活動に取り組むことができる。また、協働的な学びを行う中で、読んだり聞いたりした内容について、考えたり感じたりしたことをデジタル教科書に書き込むなどして思考を整理し、考えを構築して意見交流を行うことで、多面的な考察が可能になるとともに、適切に話したり書いたりして表現する力を育成できる。

個別最適な学び

音声読み上げ 英語の表現等の確認・練習

- ・デジタル教科書の音声読み上げ機能で、児童生徒一人一人が自分のペースで、語彙や表現を確認したり学習したりすることで、語彙や表現への理解が進む。
- ・語彙や表現の理解が進むことで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに合わせたより適切な表現を身に付けることができる。



音声読み上げ機能は自分にあったスピードにできて、繰り返し音声を確認することができる。

協働的な学び

拡大・書き込み ペアやグループでの学習活動

- ・児童生徒が自分の考えや気持ちを伝え合う際に、デジタル教科書の写真やイラストについて拡大機能等を活用することで、英語を使った言語活動の充実につながる。
- ・自分の意見と他者の意見を色を変えながら書き込むことで、意見の違いを可視化することにより、言語活動の充実につながる。

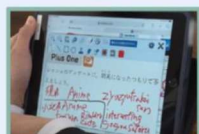


デジタル教科書の写真やイラストを活用して、考えや気持ちを伝え合うことができる。

個別最適な学び

書き込み 自分の考えをまとめる活動

- ・協働的な学びを行う中で、伝え合う際に書き込んだ自分の意見や他者の意見を踏まえて、改めて自分の意見を整理することで、自分の考えを深めることができる。
- ・意見交流の際に分らなかつた自信がなかつた言語や表現をデジタル教科書で確認することで、より適切な英語の語彙や表現の定着につながる。



色を変えて書き込んだ他者の意見を踏まえて、改めて自分の意見を整理することで、考えを深めることができる。

12

学習者用デジタル教科書の事例集・研修動画等について

- 文部科学省では、デジタル教科書の効果的な活用を普及促進するため、デジタル教科書の効果的な活用に関する事例集や研修動画を作成し、文部科学省HPにて公表しています。(下記URL参照)
学校現場の教職員の方や、教育委員会などの管理機関において学校教育を担当する職員の方におかれましては、研修を行う際などに、是非ご活用ください。
- また、学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方や、導入に当たっての留意点等については、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」も作成しています。あわせてご利用ください。

<文部科学省HP：学習者用デジタル教科書の制度化>

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/seido/1407731.htm ※事例集等は「関係資料」の欄に掲載しています。

学習者用デジタル教科書について

はじめての学習者用デジタル教科書

学習者用デジタル教科書 実践事例集 2022年度版

事例集・研修動画のURLはこちら

17

こんなに使える！デジタル教科書・教材・学習支援ソフト — 令和5年度 授業実践事例

導入

① 動画・音声教材で子供の関心をつかむ！

事例集 p.30

風連中学校 1年生 数学

「既習事項の振り返りと動画教材の視聴による見通しの明確化」

円錐の体積の求め方を考えるに当たり、授業の導入部で、デジタル教科書の動画教材を視聴。模型に水を入れる様子から、円柱と円錐の体積の関係性を視覚的に捉えさせ、課題解決に向けた見通しを確実にもたせる。

主体的な学び

② デジタル教科書を駆使してとことん試行錯誤！

事例集 p.27

門前中学校 2年生 数学

「デジタル教科書を使って粘り強く試行錯誤」

デジタル教科書のシミュレーション機能を活用し、試行錯誤させる。補助線や文字の書き込み、図形の拡大・縮小・複製等、自由に図形を動かしながら思考させ、子供の多様な発想を引出す。

対話的な学び

③ 多様な機能を用いて学びを自己調整！

事例集 p.12

柏原小学校 5年生 外国語

「ゴールに向けた個別の学習方法を学習者に委ねる」

注文・会計のやりとりをペアで実践するに当たり、その準備として、自分が必要だと思う内容を自分のペースで学習させる。ゴールが明確でデジタル教科書での学び方が分かっていると、自己調整できる。

④ 学級全体の共有に学習支援ソフトも活用！

事例集 p.34

名寄小学校 5年生 算数

「ワークシートで理解度を可視化し、児童間の交流を促進」

デジタル教科書を切り抜き作成したワークシートにより試行錯誤させ、その結果を学習支援ソフトで全体に共有。その際、児童に理解度に応じたワークシートを色分けしてもらい、授業者は支援対象の把握、児童は他者の考えから学ぶ機会として活用。

⑤ 互いに学び合う！ 録音・録画 × 共有

事例集 p.21

西ノ京中学校 2年生 外国語

「アドバイスを録音・共有し、ペア・学級全体で学び合う」

デジタル教科書で学んだ表現を参考にスピーチを作成し、ペアで練習。表現面・内容面に関するお互いのアドバイスを学習者用端末で録音・共有。生徒一人一人の気付きや学級全体の学び合いを促進。

⑥ デジタルコンテンツを総動員！ 学びを深める情報整理

事例集 p.24

加納岩小学校 6年生 外国語

「デジタル教科書の様々な単元を行き来し、学びを深める授業作り」

「家庭学習との結びつけ」や子供たちの「課題を解決したい」を引き出す授業にデジタル教科書を活用。子供たち自ら様々な単元やコンテンツを行き来して、既習事項に立ち返りながら理解を深め、考えを形成する姿を実現。

⑦ 家庭学習も学習支援ソフトで共有

事例集 p.23

加納岩小学校 6年生 外国語

「『学び方』を学ぶための、家庭学習×デジタル一覧シート」

家庭学習にデジタル教科書を活用。取組内容は子供たちに委ね、学習支援ソフト上のワークシートを使って個々の取組(単元・コンテンツ・振り返り)を記録・共有。他者の取組を参考にし、授業と関連づけて学んでいく自律的な学習者を育成。

詳細は、以下のコンテンツも参照ください

実践事例集

令和5年度実証研究事業に参加した全国10の小・中学校の授業改善事例を紹介。デジタル教科書を活用した「授業改善」について、実際の授業の流れや授業者や児童生徒の声とともに紹介。

https://www.mext.go.jp/content/00040621_mxt_kyokashyo01_000035395_2.pdf

実践事例動画

デジタル教科書等を活用した授業づくりを、5分から10分程度の動画で紹介。英語・算数・数学の別に授業を一つ取り上げ、授業の流れに沿ってデジタル教科書の活用方法を解説。そのほか、活用シーンやTipsにとりまとめた動画も掲載。

<https://www.youtube.com/watch?v=919t719t19t&list=PLG65GZ3JmB6A2C9z2w155G2Q6Z9C6A05m>

令和5年度「主体的・対話的で深い学びの充実」に資するデジタル教科書をはじめとするICT機器等を活用した効果的な指導に関する実証事業」リーフレット(超概要版)

授業改善事例 5 外国語 中学校2年

授業の活発な流れを維持しながら、デジタル教科書等を活用する

京都府 京都市立西ノ京中学校

改善の観点 主体的 対話的 深い

動画で見る

授業改善のポイント A デジタル教科書等で実現する、個別最適な語彙練習

現状の課題 基礎や既習事項の定義に差があるが、教師が示した学習方法で満足して伸び悩んでしまう。

目指す姿 生徒自ら、単元ゴールの活動や自分の習得状況に応じて「必要な語彙」は何かを考え、習得できる。

改善

デジタル教科書等の活用方法

デジタル教科書から必要な語彙を選ばせ、学習支援ソフトでまとめる

- 「単元ゴールの発表活動に必要な表現」や「自分が習得したい単語」を、生徒自身がデジタル教科書から集め、学習支援ソフトに各々のまとめで整理させる。

有識者からのアドバイス

生徒は出てきた単語を全部覚えなければいけないという発想に陥りがちなので、選ぶ際に「自分が表現するために必要な単語は何か」を考えさせることが大切です。(東京家政大学 太田洋 教授)

一人では探せない生徒もいるため、はじめはペアで、自分が選んだところや選んだ理由を話し合わせる。学習支援ソフトの共有機能を活かし、生徒が選びまとめたものを学級全体で共有。

授業者の声

大事な表現を一箇所にまとめられ、整理や見直し、修正もしやすいのがデジタルの良さです。以前はインターネットで検索した正確でない表現を使っていた生徒も、デジタル教科書でまとめや振り返りが容易になったことで、教科書から学んだ正しい表現を使うようになりました。(加藤 教諭)

目的・場面を生徒に理解させ、「型を与えて、生徒に委ねる」

- 授業者が活用が有効だと思う目的と場面をしっかりと考え、生徒に取り込む内容の型を提示することで、戸惑うことなく活動に臨み、自ら学ぶことができるように。
- 委ねて手放すだけではなく、教師が見とりサポートすることも重要。

授業者からのアドバイス

以前は教師が授業をメインで動かす傾向にありましたが、子供たちは自分の予想以上の取組をしてくれました。「生徒に委ねる部分」と「教師がコントロールする部分」のバランスを、場面や生徒によって考えることが大切だと感じました。(加藤 教諭)

授業改善の効果

授業者の声

- 取組前は、授業者が重要語彙を選び生徒に示していましたが、生徒自身で習得すべき語彙を選ぶ活動を続け、英語が苦手な生徒も使うことができるようになってきました。「自分で選んだ単語だから」という理由だと思っています。生徒にとっては、先生が一方的に与えるものより、取組む意欲がぐくみやすいでしょう。(加藤 教諭)

生徒向けアンケートの結果

- 授業後に行った生徒向けアンケートでは、「語彙を選んだ理由」を調査。以下のような回答から、発表活動や習得状況を意識した取組ができていることが分かる。
- 自分の考えに繋がるような、発表に活かせる表現を選び、(教科書の語彙は)友達も聞いていて分かりやすく、自分も覚えやすいから選びました。
- 自分が何回も使えそうにしようと思ったところとか、先生が大事にしていた言葉とかを選びました。

有識者の声

- 観察していた生徒も、英語が苦手とは思えないほど伝える相手を意識しながら分かりやすい英語で説明しており、印象的でした。取組の成果が出ていたと思います。(東京家政大学 太田洋 教授)

「令和5年度学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」実践事例集より

MEXCBTを活用した 英語「話すこと」「書くこと」の力の強化

目的

英語 4 技能をバランスよく育成するために、特に課題となっている「話すこと」「書くこと」の力の強化に向けて、CBT問題を活用して、児童生徒の個別最適な学びや教師の指導の充実を支援。

・MEXCBT(文部科学省CBTシステム)に、「話すこと」「書くこと」を中心としたCBT問題を搭載。

・各CBT問題を、国際標準であるCEFR(※1)レベルと紐づけ(※2)。

(※1) ヨーロッパ言語共通参照枠。第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)において、中学校卒業段階でCEFR A1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成した中高生の割合を6割以上にすることなどを指標。

(※2) 外部検定試験のように、CEFRレベルを認定するものではない。

特徴

問題 教師は、技能やCEFRレベル(CEFR A1未満～B2レベル相当)ごとに問題の選択が可能。

問題 多彩なテーマや題材から問題の選択が可能。

題材例: 自分の好きなもの、身の回りの物事、自然科学、歴史 など

解答・解説 解答内容に応じてCEFRレベルの把握が可能。

解答・解説 学習のアドバイスを参考に、学習に役立てることが可能。

令和6年度中学校各教科等教育課程研究協議会(中・外国語)より

MEXCBTを活用した 英語「話すこと」「書くこと」の力の強化に向けた活用イメージ

「話すこと」問題(画面イメージ)

録音は2回まで可能

自分の解答音声を再生して聞くことが可能

英語を学習している、世界の子供たちの解答例を音声で聞くことが可能

「書くこと」問題(画面イメージ)

キーボード入力をして解答することが可能

学習のアドバイスを参考に、学習に役立てることが可能

令和6年度中学校各教科等教育課程研究協議会(中・外国語)より

徳島版読解力について

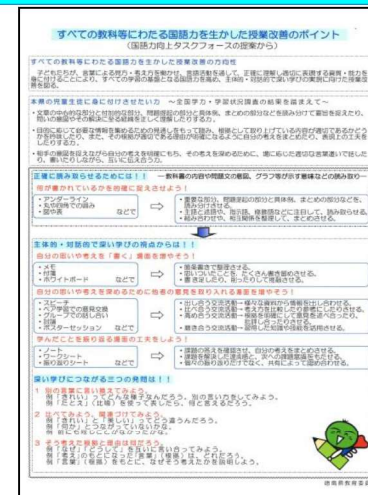
これまででは、

国語力向上タスクフォースの提案の各教科等の授業への活用
の推進と状況の把握

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、**すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。**

新たな取組へ



教科から選ぶ		問題の種類から選ぶ	
問題の種類 ※必須	文部科学省 英語学習問題	形式 ※必須	㊟ 複数問題形式 ○ 一問一答形式
学年		教科	外国語(英語)
級			
タイトル	フリーワードで検索例: 令和3年度		
リセット		検索	

問題一覧

全50件

問題を選択し『選択した問題を確認』ボタンを押してください(選択できる問題は1個までとなります)

No.	タイトル	教科 学年	科目	問題情報	解説情報	詳細
☐	1 【MEXT 英語】 2_1 「聞くこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	2 【MEXT 英語】 1_2 「聞くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	3 【MEXT 英語】 1_1 「聞くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	4 【MEXT 英語】 2_2 「読むこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	5 【MEXT 英語】 2_1 「読むこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	6 【MEXT 英語】 1_3 「読むこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	7 【MEXT 英語】 1_2 「読むこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	8 【MEXT 英語】 1_1 「読むこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	9 【MEXT 英語】 2_9 「書くこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	10 【MEXT 英語】 2_8 「書くこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	11 【MEXT 英語】 2_7 「書くこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細
☐	12 【MEXT 英語】 2_6 「書くこと」 (CEFR A2・B1・B2相当)	外国語(英語) 共通				詳細

53

令和6年度からは、

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を活かした学力向上のポイント

に取り組みます。

学校訪問や各研修会等で周知してまいります。

読解力とは？



「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

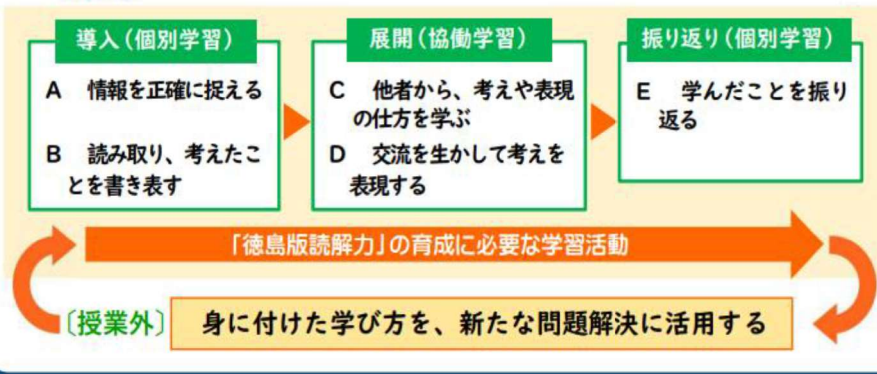


「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し



「徳島版読解力」育成に必要な学習活動等

「徳島版読解力」を構成する五つの力

- 1 **正確に読む力**（多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力）
- 2 **必要な情報を取り出す力**（読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力）
- 3 **比較・関連付けて理解する力**（取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見いだしたりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力）
- 4 **見直す力**（取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力）
- 5 **発信する力**（取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力）

学 習 場 面		学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例	
授 業	導 入 (個別学習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返して読む。 ○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。 ○心に残る表現や大事だと思うところを探す。 ○全体をいくつかの部分（問題、例、データ、まとめなど）に分けたり、事実と考えを区別したりする。 ○語句と語句、情報相互の関係を見つけて、整理する。 ○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。 ○問題の解決につながりそうな部分を見つける。	1・4 1 1 2 3 1・2 3 2	【音読、黙読、視写、聴写】 1 【傍線や下線を引く】 【丸や四角で囲む】 【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【辞典、事典】	【インターネット】
		B 読み取り、考えたことを書き表す	○思いついたことを書き留める。 ○箇条書きにしたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。 ○書き留めたことを見直し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	1・2 3・5 4・5	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】

「徳島版読解力」育成に必要な学習活動等

「徳島版読解力」を構成する五つの力

- 1 正確に読み取り（多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等させずに情報を読み取る力）
- 2 必要な情報を取り出す力（読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を取り出す力）
- 3 比較・異同付けで理解する力（取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見いだしたりしながら、共通的、批判的な視点で情報の価値を捉える力）
- 4 組織する力（取り出した情報が、問題と解決のために適切な方法と向き合う力）
- 5 発信する力（取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力）

[illegible]

「徳島版読解力」育成に必要な学習活動等

「徳島版読解力」を構成する五つの力

- 1 **正確に読む力** (多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力)
- 2 **必要な情報を取り出す力** (読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力)
- 3 **比較・関連付けて理解する力** (取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見いだしたりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力)
- 4 **見直す力** (取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力)
- 5 **発信する力** (取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力)

学 習 場 面			学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用事例	
授 業	展 開 （ 協 働 学 習 ）	C 他者から、考 えや表現の仕方 を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合 ったりする。	1 2 3 4 5	【相互評価、コメント】		
			○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質 問や応答をする。		【話し合い、討論（ペア・ グループ・クラス）、スビ ーチ】		【チャット】
			○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通 点、相違点を見付ける。		【ポスターセッション】		【学習支援クラウド アプリ】
			○他者と協力して問題を解決する。		【質問、応答】		
					【図、表、思考ツール】		
		D 交流を生かし て考えを表現す る	○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫 を書き留める。	1・2	【 <u>メモ</u> 】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキ ャプション】	
○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要 な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。	4・5		【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】				
○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。	2・3		【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】				

「徳島版読解力」育成に必要な学習活動等

「徳島版読解力」を構成する五つの力

- 1 **正確に読む力**（多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力）
- 2 **必要な情報を取り出す力**（読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力）
- 3 **比較・関連付けて理解する力**（取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見いだしたりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力）
- 4 **見直す力**（取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力）
- 5 **発信する力**（取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力）

学 習 場 面	学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例
授 （振 個り 別返 学リ 業習 ）	E 学んだことを振り返る	3・4 5 2・4 3・5 4・5	【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】 【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】	【メモ・付箋機能】 【画像、動画】 【学習支援クラウドアプリ】

「徳島版読解力」育成に必要な学習活動等

「徳島版読解力」を構成する五つの力

- 1 **正確に読む力**（多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力）
- 2 **必要な情報を取り出す力**（読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力）
- 3 **比較・関連付けて理解する力**（取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見いだしたりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力）
- 4 **見直す力**（取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力）
- 5 **発信する力**（取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力）

学 習 場 面	学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例
授 業 外	身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する	1・3 4 1 2・3 2・5	【書籍】 家族や友達などの他者] 【書籍】 【会話】 【自主学習ノート】 【書籍】 【新聞】	【インターネット】 【メモ・付箋機能】 【学習支援クラウドアプリ】

<参考資料>

「指導と評価の一体化」サイト



■思考・判断・表現の学習評価問題例を中心に掲載

■R6ははじめに更新

- ・知識・技能の問題を追加
- ・技能統合の問題を追加

ID: COMPASS
Pass: English



① 知識・技能の問題を追加

読むこと イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

書くこと イ 日常的な話題について、事象や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

7 [学習評価問題例]
次の英文は徳島県に新しく赴任するALTの先生方から、徳島県についてのプレゼンテーション大会をするために太賀（たが）さんが書いた英文です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

Welcome to Tokushima Prefecture. We have been looking forward to seeing you. Now, let me talk about our prefecture.

First, I'll tell you about sudachi, a citrus fruit. 80% of sudachi in Japan is produced in Tokushima, and it is sold in Tokushima and other prefectures. It tastes sour and it's like a lime or a lemon. We put the juice of sudachi on food such as meat, fish, soup, and so on. It makes the dish more delicious. Also, it is good for your health because you don't have to add seasonings such as salt or soy sauce. You can also enjoy sudachi drink. It's sweet and tasty.

Second, I'll talk about Awa-Odori. It's the name of the local chicken in Tokushima. It is known for its sweet and strong flavor with low fat. It became famous in other prefectures. The name "Awa-Odori" came from the famous traditional dance in Tokushima. "Awa" is the old name of Tokushima and "Odori" means dance. In the case of the chicken, "O" means a tail, and "dor" means a chicken. The name of the chicken shows the power of the dance and the tradition of Tokushima.

I hope you'll try both sudachi and Awa-Odori while you are in Tokushima. Thank you.

① 太賀さんはプレゼンテーションのために写真を4枚用意しました。写真の順番に合うように、絵を並べて、ア～エの記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
阿波尾鶏の絵	スダチが料理に使われている絵	阿波踊りの絵	ジュースになっている絵

② 次の文は太賀さんが写真に使用するメモの1部です。空欄に入るものを1～4から選べなさい。

① Sudachi is healthy because ().
ア we don't need seasonings イ it's sweet and tasty
ウ it makes the dish more delicious エ it's like a lime or a lemon

② "Awa-Odori", the local chicken is famous for ().
ア the old name of Tokushima
イ the power of the dance and the tradition of Tokushima
ウ sweet and strong flavor with low fat
エ a tale and a chicken

② 技能統合問題を新規作成

読むこと イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

書くこと イ 日常的な話題について、事象や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

12 [学習評価問題例]
あなたは、来月あなたの学校にやってくる留学生サリー（Sally）さんとメールのやりとりをすることになりました。サリーさんから届いたメールを読み、あとの問いに答えなさい。

Hello.
My name is Sally. I live in Australia. I like playing sports. Do you like sports? I'll visit your school next month. I can't wait! I learned about Japanese school on the internet. I'm interested in club activities.
I like basketball and play it with my friends on weekends, but I want to try some different kinds of sports. What club activities do you have in your school?
I hope you'll write me back soon.
[注] InternetはInternetと表記します。

① あなたはこのメールの内容をふまえ、写真を添付して返信しようと考えています。次のア～エのうち、どの写真を添付するのが適切だと思いますか。記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
自分の中学校の校舎	授業風景	部活動の様子	給食の時間の様子

② あなたからサリーさんへの返信メールを書くことになりました。サリーさんからのメールの内容をふまえ、[]に20語以上の英語で書きなさい。

Hi, Sally.
My name is (あなたの名前).
Thank you for your e-mail.
[]
I'm looking forward to meeting you.
(あなたの名前)

<参考資料>

県学力向上関係資料

県学力向上関係資料

メニュー

- 県学力向上関係資料
- GIGA・とくしま学び通信
- 学力向上推進員研修会
- 学習ガイド関係資料
- 徳島県学力向上確認プリント
- 学力ステップアップテスト (調査例)
- 学力ステップアップテスト (分析)
- 学習ガイド関係資料
- 授業づくり研修

徳島県学力向上確認プリント
中2英語 6回分

学習ガイド関係資料
2回分の活用問題

授業づくり研修
全国学力・学習状況調査をもとにした授業づくりに関する資料

<https://siryou.tokushima-ec.ed.jp/>



65

学力向上確認プリント

徳島県学力向上確認プリント

中2英語⑥

氏名 _____ 月 日 / 1期

③ あなたの学校は、国際交流を行うことになった海外の中学校の生徒にむけて、学校のホームページで徳島県の紹介をすることになりました。

そこで、次の写真の中からあなたが「徳島でおすすめしたいもの」を1つ選び、その理由とともに30語以上の英語で説明してください。

※知照事項 「I'm or don't」などは1語を考慮、符号「、」や「?」などは語数に含まれません。

(例) No, I'm not. (1語)

1. Kazuno-bashi

2. Asa Dance

3. Sudachi

4. Aizome

5. Utsunio

写真番号 _____

理由説明 _____

5語 _____

10語 _____

15語 _____

20語 _____

25語 _____

30語 _____

学習ガイド関係資料

1

今月の学校新聞に、A.L.T.の先生からのメッセージが掲載されています。これを読んで、A.L.T.の先生の問いかけに対するあなたの答えを、英語で簡潔に書きなさい。

My friend living in Canada will come to Japan on March 20. His name is Jack. He will stay in Japan for two months and he wants to travel around Shikoku by bike.

Jack likes cycling and writes about his trips with beautiful pictures on his SNS. He wants to visit the local areas and enjoy the beautiful season of spring. He has been looking for useful information written in English on the Internet, but he can't find it.

Where should he visit in Shikoku? Can you tell me about your idea? I will give the information to Jack later. I hope he will have a great time in Shikoku.

1 解答

(例1)

He should go to Kokufu in Tokushima City. In Kokufu, there are some temples. It will be fun to visit them by bike. He will be able to take good pictures of the local areas.

66

各種研修でのmextchannel活用に向けた動画分類例【中学校】①

中学校：学習到達目標 編

【授業】

中学校の外国語教育はこう変わる！

～前編(授業)～

【授業】

中学校の外国語教育はこう変わる！

～後編(授業)～

【授業】

中学校の外国語教育はこう変わる！③

～社会的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～

【解説】

中学校学習指導要領・学習評価の解説

前編

【解説】

中学校学習指導要領・学習評価の解説

後編

小中連携 編

【解説】

外国語教育における小中連携

必要性和ポイント

【解説】

中学校学習指導要領・学習評価の解説

前編

【解説】

中学校学習指導要領・学習評価の解説

後編

中学校：パフォーマンステスト 編

【解説】

中学校学習指導要領・学習評価の解説

前編

【解説】

中学校学習指導要領・学習評価の解説

後編

67

各種研修でのmextchannel活用に向けた動画分類例【中学校】②

中学校：言語活動 編 ①

New!

【授業】

教師の指導力向上に向けた実践例①

～領域目標 話すこと[やり取り]～

New!

【授業】

教師の指導力向上に向けた実践例②

～領域目標 話すこと[やり取り]～

New!

【授業】

教師の指導力向上に向けた実践例③

～領域目標 話すこと[発表]～

【授業】

「読むこと」と「書くこと」の

領域統合の指導例

【授業】

新しい言語材料の導入の仕方例

【解説】

読むことの指導例

～読んだ内容を伝えることを目的として

読ませる指導例～

【授業】

主に「思考力・判断力・表現力等」を

育成するための指導例

～伝え合う内容を重視した授業、

学習集団づくりが大切にされた実践～

【授業】

社会的な話題について

自分の考えをもち表現させる指導例

68

中学校：言語活動 編 ②

【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！ ～前編（授業）～		【対談】 中学校の外国語教育はこう変わる！ ～後編（対談）～	
【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！② ～言語活動を通して、言語材料を学ぶ～		【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！③ ～社会的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～	
【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！④ ～日常的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～		【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！⑤ 「統合的な言語活動の指導の工夫」	
【解説】 中学校学習指導要領・学習評価の解説 前編		【解説】 中学校学習指導要領・学習評価の解説 後編	

69

令和5年度中学校各教科等教育課程研究協議会（中・外国語）より

中学校：教師の英語使用状況 編

New! 【授業】 教師の指導力向上に向けた実践例① ～領域目標 話すこと[やり取り]～		New! 【授業】 教師の指導力向上に向けた実践例② ～領域目標 話すこと[やり取り]～	
New! 【授業】 教師の指導力向上に向けた実践例③ ～領域目標 話すこと[発表]～		【授業】 主に「思考力・判断力・表現力等」を 育成するための指導例 ～やり取りを重視した授業、ALTを活用した実践～	
【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！② ～言語活動を通して、言語材料を学ぶ～		【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！③ ～社会的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～	
【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！④ ～日常的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～		【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！⑤ ～統合的な言語活動の指導の工夫～	

70

令和5年度中学校各教科等教育課程研究協議会（中・外国語）より

中学校：評価と一体化した指導 編

【解説】 中学校学習指導要領・学習評価の解説 前編		【解説】 中学校学習指導要領・学習評価の解説 後編	
【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！③ ～社会的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～		【授業】 主に「思考力・判断力・表現力等」を 育成するための指導例 ～やり取りを重視した授業、ALTを活用した実践～	
【授業】 主に「思考力・判断力・表現力等」を 育成するための指導例 ～伝え合う内容を重視した授業、 学習集団づくりが大切にされた実践～			

中学校：生徒とのインタラクション 編

【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！② ～言語活動を通して、言語材料を学ぶ～		【授業】 中学校の外国語教育はこう変わる！③ ～社会的な話題を聞いて、読んで、話す、書く～	
【授業】 社会的な話題について 自分の考えをもち表現させる指導例		【授業】 主に「思考力・判断力・表現力等」を 育成するための指導例 ～やり取りを重視した授業、ALTを活用した実践～	

71

令和5年度中学校各教科等教育課程研究協議会（中・外国語）より